（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	POCCO南アルプスこうさい

公表日 2024年12月20日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		適切であると思います。	継続して整理整頓を心掛けて適切なスペースを確保できるように努めたいと思います。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	7		配置人数に関しては少ないと言う事はなく適切だと思います。	これからも配置人数割れの無いよう適切な配置を行っていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		視覚情報などを取り入れ構造化を行っています。また、車いす利用児童の為のバリアフリーも出来ています。	部屋の構造上難しい部分もあるとは思いますが、スロープなどの傾斜をもう少し緩やかにするなどの改善を図っていきたいと思います。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		毎日、掃除や消毒を行い、清潔で使いやすい空間作りに努めています。　限りある空間を有効に使う事ができるように配慮しています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		気持ちを落ち着ける為や、導尿などプライベートを確保しながら使用できるようにしています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		常に目的意識を持ち業務に取り組みながら、改善等の意見の共有を行っています。	目的意識と振り返り、改善に取り組んでいきたいと思います。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		年度末に配布。記入をしてもらったものを職員全員で共有し、今後の支援に繋げています。	継続して取り組む中でより良い事業所つくりに取り組んでいきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		毎日の打ち合わせ、月1回のミーティングでの意見交換を行いながら業務の改善に取り組んでいます。	継続して取り組んでいきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7		今期は外部調査を行う事はありませんでしたが、評価できる体制はあります。	必要時には外部調査を行っていきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		定期的に行われる山内先生の研修への参加だけでなく、他の研修へ参加することで質の向上に努めています。	これからも研修に参加し技術面・知識面の向上に努めたいと思います。
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		支援の5領域を明確にし療育を行うように取り組んでいます。	継続して明確なプログラムの作成を行っていきたいと思います。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		定期的なアセスメントの実施だけでなく、送迎時などの短い時間にも保護者様との会話からニーズを抽出し計画の作成に取り組んでいます。	継続して取り組んでいきます。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		評価に関しては職員も参加しながら様様な意見の元作成をしています。S-MやWISCの結果だけでなく、本人・保護者の意見も重視しながら作成をしています。	これからも継続して取り組んでいきたいと思います。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	7		個別支援計画作成時には担当者会議を行い情報の共有をし共通理解の元支援を行っています。	継続して取り組んでいきます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		S-MやWISCに沿った支援項目だけでなくその都度、各児童の状況や話しを把握しながら支援を行っています。	今後も検査結果、状況などを踏まえた療育を行っていきたいと思います。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		より質の高いサービスの提供を行えるようにガイドラインを把握し、支援を行っています。	継続して質の高いサービス提供が行えるようガイドラインに沿った療育を行っていきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		日々のプログラムに関しては各職員が立案、職員全員で確認している。週末・長期休み時に関しては、職員全員で打ち合わせを行いプログラムを作成しています。	各児童に必要な力や伸ばしたい力を職員全員で考えて取り組んでいきます。

援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		プログラムが偏る事に無いように常に務めています。	これからも情報を集めながら活動プログラムの偏りのないように折り組んでいきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		各児童の特性に合わせた個別活動・集団活動を含めたプログラム作成をしています。	引き続き児童に合わせたプログラムを作成していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		毎日決まった時間に必ず打ち合わせを行い情報共有を行っている。課題など見られる場合には細かく話し合っています。	継続して取り組んでいきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	7		振り返りは必ず行い、職員間でで共有するようにしています。	継続して取り組んでいきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		日々のご様子に関してはHUGシステムのケア記録に記載して、ご家族にお伝えしています。	日々の連絡の中からも支援計画に活かすことが出来るように取り組んでいきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		定期的なモニタリングだけでなく、期間前の目標達成や課題の簡素化の必要時には見直しを行っています。	見直しの判断を職員と相談しながら取り組んでいきます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	7		自立支援・創作等各活動に取り入れて療育を行っています。	継続して取り組んでいきます。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		職員主観の活動を提供するだけでなく児童の言葉や行動に耳や目を傾けて、児童本人のの思いや思考に寄り添った支援を心掛けています。	児童が自分自身の意思で選択、決定をし、充実した生活が送る事ができる様支援を行っていきます。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		主に児童発達支援管理責任者が参加していますが、利用児童の様子や状況により責任者が出席することもあります。	状況に応じて児童に一番適した職員が参加することも行っていきます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		医療連携が必要な児童に対応できるような体制は出来ており、実施しています。	ご本人の状況をご家族や、学校からもうかがいながら最適なケアがおこ合えるように努めていきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		月・週ごとの下校時間の確認を保護者様を通して行っています。	トラブル発生時にも連絡が取れる体制もあり、継続して取り組んでいきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7		事前に情報提供をお願いし引継ぎを行っています。	就学後も情報の共有が取れるような体制も整えていきたいと思います。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7		就職などで引継ぎを行う、事業所移動時には情報の提供を行い引継ぎを行っています。	就職後も情報の共有が行えるような態勢を整えていきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	7		各圏域の子育て支援課や支援センターとの連携を行っています。	継続して取り組んでいきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7		地域主催のイベントなどに出席をし、地域児童との交流を図れるように努めています。	頻度を上げて参加していきたいと思います。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		7	協議会はありますが、出席の依頼や実態の把握が出来ていません。	実態把握を早急に行い、参加が出来るものであれば参加をしたいと思います。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		HUGシステムを活用するだけでなく送迎時の時間やSNSでのやり取りを行い、情報の共有や課題の抽出を行っています。	継続して取り組んでいきます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7		山内先生の研修・相談会の告知に関してはHUGシステムやSNSを使って行っています。	継続して告知などを行っていきますがより細かくお知らせをしていきたいと思います。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		変更時や改定時には責任者、管理者が必ず説明を行い、理解・了承を得ています。	継続して取り組んでいきます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		利用時の送迎時やお迎え時などで課題などを聞き取り、計画の作成を行っています。	ケア記録なども活用し、より細かい課題を抽出することが出来るよう取り組んでいきます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	7		作成時に説明、確認を頂いてからの本プラン作成を行っています。	これからも取り組んでいきます。

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		HUGやSNS、電話だけでなく送迎時など適宜行っています。	お悩みなどがあった際には解決に向けて職員で共有、必要な助言・支援を行っていきます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		7	本年は家族参加の企画が少なかった。	感染症から頻度が減っていたため、来期は少しずつ頻度を増やしていきたいと思います。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		連絡体制を整備し迅速・適切に対応しています。また、報告書の作成を行い記録として残しています。	貴重なご意見だと思います。事業所の質の向上としてしっかりと受け止めて改善を行っていきます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		公式LINEでの定期的な情報の発信を行うなどして活動の容の告知を行っています。	どんな活動をしているかを知ってもらえる機会だと思います。これからも取り組んでいきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		取り扱いには徹底して管理を行い、情報の漏洩の無いようにしています。	施錠の確認などを行いながらより厳重に管理していきたいと思います。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		口頭だけでなく、視覚情報を用いたツールや選択肢を用意するなどしています。	これからも様々なツールなどを用いて意思疎通をスムーズに行う事ができるように取り組んでいきます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7		今期は開催することが出来なかったが、事業所間での交流を行う事ができていました。	来期は行う事ができるようにカニ全を行っていきたいと思います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		マニュアルについては作成し共有。職員がいつでも閲覧できるようにしています。	ご家族に周知してもらうよう努めていきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		火災・地震・洪水・車両事故だけでなく感染症についても定期的な訓練を行っています。	来年度も継続して定期的に取り組んでいきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		見学時や契約時など基本情報を頂く際には必ず確認している。同時に対応についてもお聞きしている。	継続して行っていきます。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		契約時に確認。ご家庭と隋時情報の共有を行い、食物アレルギーなど項目の増えた場合には連絡を頂くようにしています。その際には、医師の診断書や指示書のコピーを頂き、緊急時の対応についても共有させて頂いている。	これからも取り組んでいきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		常に安全に配慮して環境の設定を行っている。	安全、安心して療育を行う事ができるように、これからも取り組んでいきたいと思います。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	7		マニュアル化し、職員間での周知は出来ているがご家族との連絡については不安があります。	事故想定訓練時、ご家族引き渡し訓練などでご協力いただける活動を取り入れていく中で連携を図っていきたいと思います。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		ヒヤリハットのあった際には必ず情報の共有を行い、再発防止に努めています。	ヒヤリハットの無い状況が作れるよう安全面に配慮して楽しく過ごす事ができる環境を作っていきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		定期的な研修に参加。日々支援技術の向上に努めています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		身体拘束が必要になる可能性のある児童に関しては事前に保護者に説明。理解・承諾を得てから個別支援計画に記載。再度確認を頂いている。	身体拘束の際には不和や誤解の無いようにしっかりとした説明をし、ご理解を頂けるように配慮していきます。